

化粧品や日用雑貨の包装加工 人材力で事業を活発化

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



化粧品包装作業の様子

業務内容 物流部門を立ち上げ ワンストップサービス強化

日用雑貨の組立やラベル貼り、箱入れ、フィルム包装などの加工が事業の柱。それに付随する入庫や製品の保管、出荷作業など倉庫での物流業務も請け負う。顧客は包装加工と物流のサービスをワンストップで受けられるため、手間の省略やコストカットも効率的に行うことができる。さらに、顧客が提示する製品の発売日まで、同社の倉庫で一時保管するストックヤードとしての役割を担うサービスも提供し、好評を得ている。平成30年1月には化粧品製造許可を取得し、化粧品の包装加工も開始した。

強み パート従業員の定着率高め 加工精度の安定図る

パート従業員中心の作業現場だが、働きやすい環境づくりにより定着率を高めており作業の熟練度が上昇。作業スピードや加工精度の一定レベルを常に維持しており、生産力向上へつながっている。化粧品包装加工工程では、通常は固定されている製造ラインのレイアウトを柔軟に変更すること、作業時間のロスや良品率低下を抑制した。また、専用治具の開発にも積極的だ。ラベル貼り作業では毎回、同じ位置にラベルを貼ることができる位置決め装置を社内で作成。それにより製品不良率が大幅に減少し、資材ロス率も12%から5%以下に大きく改善したという。

事業創造 熱い気持ちで原動力に ビジネスの芽を開花

平成30年6月からは、溶接作業経験のある従業員の存在がきっかけとなり、自動車部品輸送用パレットの溶接組立事業を



治具を使ったラベル貼り



物流センター

今後の展望 業務集約の新拠点を計画 幅広いニーズに応える

近年の生産拠点を海外から国内へと回帰させる動きや、訪日外国人向け商品の増加などにもとまって受注が増加しているため、今後はいかに生産性や効率性を高めていくかが課題だという。現在、3カ所に分散している加工工場や物流センターを集約し、機能性や生産性の高い拠点の新設についても計画している。

また、化粧品製造許可の一般区分を取得することで、従来の包装や保管業務に加えて充填作業も可能な体制を整える方針だ。山本社長は「物流加工分野で幅広いニーズに応えられるように事業領域を広げたい」とし、機能性と生産性を高めていく。

当社の歴史



昭和23年に祖父の山本義治が綿織物の製造業から事業を始め、平成15年頃から包装加工業に転換しました。同17年には物流部門を設立し、2部門で事業展開しています。人材を大事にする経営を根幹に一人ひとりが力を発揮できるよう職場環境を整え、社内の円滑なコミュニケーションを心がけています。

代表取締役 山本 貴治さん

<http://www.yamayoshi-izumi.co.jp/>

主な事業内容

日用雑貨、化粧品の包装加工
や物流業務請負

主な取引先(納入先)

化粧品メーカー、化粧品受託
製造会社、包装資材系商社、
各種企画会社

- 住所 〒594-1154
和泉市
松尾寺町1394-5
- TEL 0725-51-3185
- FAX 0725-51-3186
- 創業 昭和23年5月
- 設立 昭和48年6月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 12名